

福井県内の原子力発電所の運転実績等について
 (平成19年度)

1. 運転実績の総括

平成19年度における県内原子力発電所13基（出力合計 1,128.5万kW）合計の稼働実績は、

	[平成19年度実績]	[平成18年度実績]
発電電力量	698.4 億kWh	750.6 億kWh
時間稼働率	66.2 %	74.3 %
設備利用率	70.5 %	75.9 %

であり、年度当初の設備利用率計画値（80%）を大きく下回り、近年と比較しても低い設備利用率であった。

各プラント別の運転実績では、美浜3号機、大飯4号機、高浜4号機は計画どおり運転、定期検査が行われたが、発電設備総点検を踏まえた国の特別な検査に対応するため敦賀1号機は定期検査の延長、敦賀2号機は定期検査を前倒しした。また、敦賀2号機、美浜2号機、高浜2号機、高浜3号機においては、蒸気発生器入口管台溶接部での傷の対策工事のため、定期検査が大幅に延長されている。

[表-1～表-4, 図-1～図-3]

表-1 稼働実績（総括）

項目 炉型	発電電力量 (億kWh)	時間稼働率 (%)	設備利用率 (%)
沸騰水型炉 (BWR; 1基)	17.1	55.1	54.8
加圧水型炉 (PWR; 12基)	681.2	67.1	71.0
県内合計 (13基)	698.4	66.2	70.5

問い合わせ先(担当: 藤内)
 内線2354・直通0776(20)0314

2. 運転状況

事故等により発電に支障を与えた事象は県内全体で5件（うち原子炉停止は4件）あり、これらによる発電損失量は、約6億kWh（0.6%）であった。

定期検査による発電損失量（稼働率の損失分）は、全体で30.2%と近年の実績と比較しても最も大きかった。

[表-4, 表-10, 図-3]

(1) 定期検査

平成19年度に定期検査を終了した発電所7基での定期検査期間（調整運転期間も含む）を合計した平均月数は5.9ヶ月であった。

最も短い定期検査は、大飯4号機の第11回定期検査で104日間（H19.5.6～H19.8.17）、一方最も長い定期検査は美浜1号機 第22回定期検査の331日間（H18.11.1～H19.9.27）*であった。

定期検査における大型工事として、敦賀2号機、大飯4号機、高浜3号機、高浜4号機において原子炉容器上部ふた取替工事などが行われた。また、既設設備の耐震性を一層向上させるため耐震裕度向上工事が各発電所で行われている。

*原子炉格納容器内の壁面からの水のにじみ等に対応するため、定期検査を大幅に延長した。

[表-5, 表-11, 図-1]

(2) 運転月数

前回定期検査の終了（営業運転再開）から定期検査開始までの運転月数（対象11基）は、平均で10.7ヶ月（運転日数56～395日*）と近年の実績に比べ若干短い期間となった。

*定期検査開始日は含まない。

[表-6, 図-1]

(3) 異常事象

安全協定に基づき報告された異常事象は29件あり、平成元年度以降、最も多かった。いずれの事象においても周辺環境への放射能の影響はなかった。なお、法律に基づく国への報告対象事象は8件あり、国際原子力事象評価尺度（INES）は、すべて「0-」であった。

異常事象29件の内訳として、原子炉停止が4件、出力抑制したものが1件、工学的安全設備の待機除外が3件あった。また、非管理区域内での労働災害が2件あった。

[表-7～表-9, 図-4]

3. 輸送実績

新燃料集合体、低レベル放射性廃棄物および使用済燃料の輸送実績は、表-11～13に示すとおりであった。

表－２ 平成19年度稼働実績（号機別）

項目 発電所名	発電時間 (時間)	発電電力量 (億kWh)	時間稼働率 (%)	設備利用率 (%)
敦賀発電所 1号機	4,837	17.1	55.1	54.8
敦賀発電所 2号機	3,528	37.8	40.2	37.1
美浜発電所 1号機	4,750	16.1	54.1	54.1
美浜発電所 2号機	2,651	13.2	30.2	30.2
美浜発電所 3号機	6,472	55.3	73.7	76.2
大飯発電所 1号機	7,980	93.7	90.8	90.9
大飯発電所 2号機	6,792	80.0	77.3	77.6
大飯発電所 3号機	7,378	88.3	84.0	85.2
大飯発電所 4号機	6,958	83.2	79.2	80.4
高浜発電所 1号機	8,492	73.0	96.7	100.6
高浜発電所 2号機	3,323	28.7	37.8	39.6
高浜発電所 3号機	5,674	51.2	64.6	67.1
高浜発電所 4号機	6,712	60.1	76.4	78.7
合計	75,547	698.4	66.2	70.5

注) 発電電力量は切り捨て、その他は四捨五入のため、
合計はあわないことがある。

図一 1 運転実績概要図（平成19年度）

注：（ ）内の日数は発電停止日数

機	年度当初計画*												設備利用率 実績	年度当初計画*	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(H20)1月	2月	3月			
敦賀1号機			第31回定期検査(198日)	原子炉再循環ポンプメカニカルシールの機能低下に伴う原子炉手動停止 (2日)	1	26	7	31						54.8%	88%
敦賀2号機					26									37.1%	76%
美浜1号機			第22回定期検査(304日)		31	27	6	14						54.1%	66%
美浜2号機														30.2%	70%
美浜3号機			第22回定期検査(97日)											76.2%	73%
大飯1号機	4		第21回定期検査 (131日)	9										90.9%	90%
大飯2号機				11	4	8								77.6%	82%
大飯3号機														85.2%	83%
大飯4号機														80.4%	77%
高浜1号機														100.6%	98%
高浜2号機														39.6%	86%
高浜3号機														67.1%	71%
高浜4号機	13		第17回定期検査(87日)	8	2									78.7%	76%
県内平均												70.5%	80%		

凡例：

停止期間
 調整運転
 運転期間
 事故停止

*1：年度当初計画の設備利用率は、事故・故障等による損失（4%）を考慮している。

図-2 稼働状況の推移

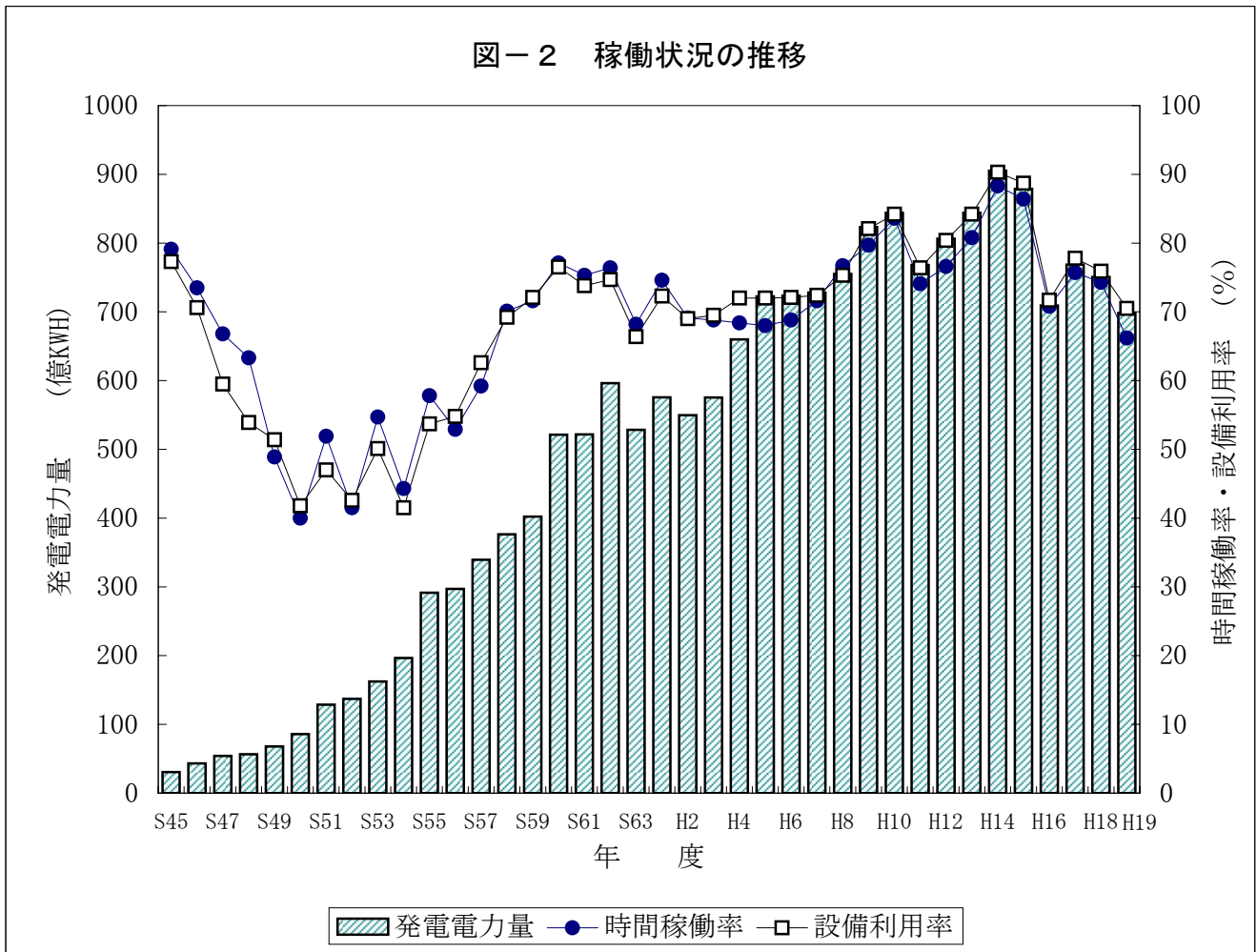


表-3 県内原子力発電所の年度別稼働実績

年 度	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54
発電電力量 (億kWh)	30.7	43.2	54.2	56.5	67.9	85.8	128.6	137.1	162.3	196.6
時間稼働率 (%)	79.1	73.5	66.8	63.3	48.9	40.0	51.9	41.5	54.7	44.3
設備利用率 (%)	77.3	70.6	59.5	53.9	51.4	41.8	47.0	42.6	50.1	41.5
設備容量 (万kW)	69.7	69.7	119.7	119.7	202.3	284.9	367.5	367.5	501.5	619.0
基 数	2	2	3	3	4	5	6	6	8	9
年 度	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1
発電電力量 (億kWh)	291.4	297.0	339.4	376.4	402.2	521.2	521.8	596.2	528.3	575.6
時間稼働率 (%)	57.8	52.9	59.2	70.1	71.6	77.1	75.3	76.4	68.2	74.6
設備利用率 (%)	53.7	54.8	62.6	69.2	72.1	76.5	73.8	74.7	66.4	72.3
設備容量 (万kW)	619.0	619.0	619.0	619.0	706.0	793.0	909.0	909.0	909.0	909.0
基 数	9	9	9	9	10	11	12	12	12	12
年 度	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11
発電電力量 (億kWh)	549.8	575.5	660.0	722.4	723.7	728.1	755.0	823.1	844.0	768.3
時間稼働率 (%)	69.1	68.8	68.4	68.0	68.8	71.6	76.7	79.7	83.6	74.1
設備利用率 (%)	69.0	69.5	72.0	72.0	72.1	72.4	75.3	82.1	84.2	76.4
設備容量 (万kW)	909.0	1,027.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0
基 数	12	13	14	14	14	14	14	14	14	14
年 度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19		
発電電力量 (億kWh)	806.4	844.1	905.2	878.9	709.2	768.6	750.6	698.4		
時間稼働率 (%)	76.6	80.8	88.3	86.4	70.8	75.7	74.3	66.2		
設備利用率 (%)	80.4	84.2	90.3	88.7	71.7	77.8	75.9	70.5		
設備容量 (万kW)	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,128.5	1,128.5	1,128.5	1,128.5	1,128.5		
基 数	14	14	14	13	13	13	13	13		

注：設備容量および基数は当該年度末の数字

図-3 年度別設備利用率・発電損失内訳

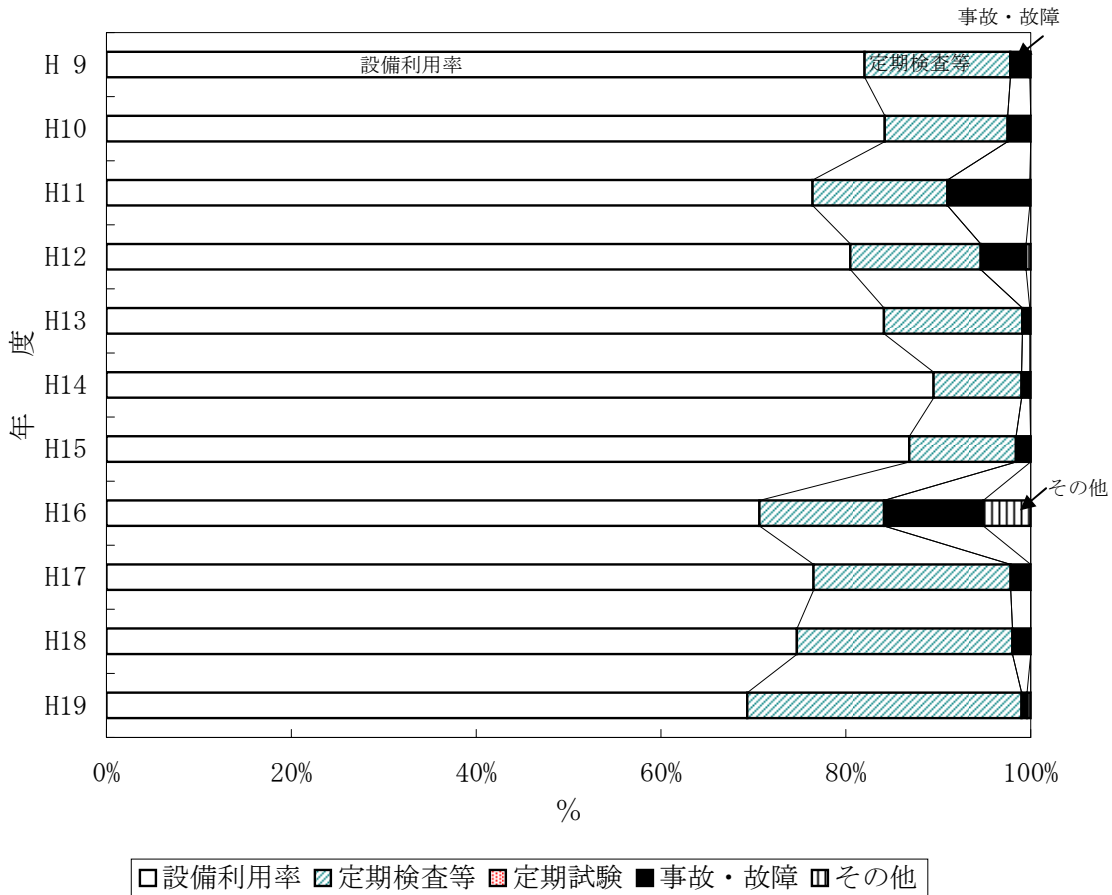
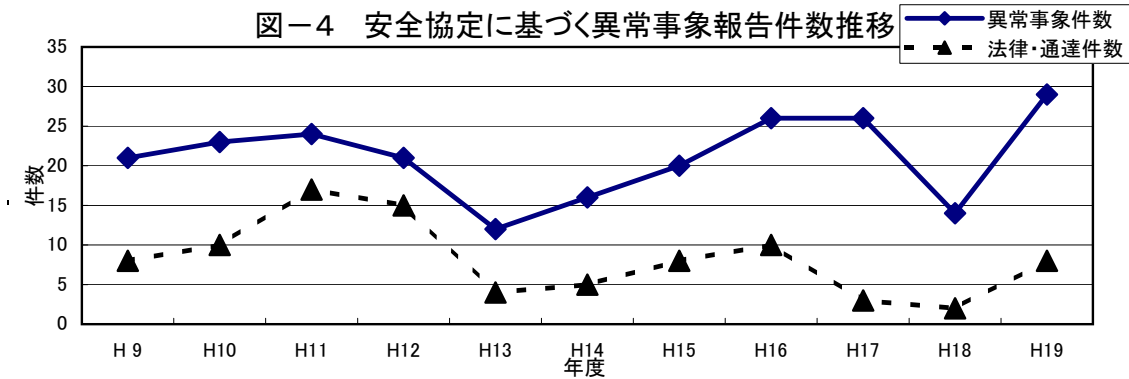


表-4 年度別設備利用率・発電損失内訳

年 度	設備利用率	定期検査等	定期試験	事故・故障	その他	合 計
H 9	82.1	15.8	0.0	2.1	0.1	100.0
H10	84.2	13.3	0.0	2.5	0.0	100.0
H11	76.4	14.6	0.0	8.9	0.1	100.0
H12	80.4	14.1	0.0	4.9	0.5	100.0
H13	84.2	15.0	0.0	0.8	0.1	100.0
H14	90.3	9.6	0.0	0.9	0.1	* 100.9
H15	88.7	11.8	0.0	1.6	0.0	* 102.1
H16	71.7	13.7	0.0	10.9	5.2	* 101.5
H17	77.8	21.7	0.0	2.2	0.0	* 101.7
H18	75.9	23.7	0.0	2.0	0.0	* 101.6
H19	70.5	30.2	0.0	0.6	0.4	* 101.7

* H14より定格熱出力一定運転を導入したため、設備利用率と発電損失の合計は100%を超えている。



表－５ 定期検査期間の推移（当該年度期間内に終了した定期検査の日数）

年 度	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
平均日数	117	82	100	147	98	91	82	114	119	217	177
平均月数	3.9	2.7	3.3	4.9	3.3	3.0	2.7	3.8	4.0	7.2	5.9

（注）・定期検査期間＝定期検査開始から定期検査終了（営業運転再開）までの期間
 ・平均月数＝平均日数／30日
 ・平成15年度以降は、ふげんの定期検査は含まない

表－６ 運転月数の推移

年 度	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
運転月数	11.7	12.7	12.3	12.1	12.6	12.8	13.0	12.7	11.4	12.1	10.7

（注）・当該年度期間内に定期検査を開始したプラントについて、前回の定期検査終了（営業運転再開）から定期検査開始までの期間（故障等による停止期間は除く）を運転月数（日数／30日）の平均
 ・新規プラントの第1サイクルは除く。

表－７ 運転中のトラブルによる運転停止頻度の推移（試運転を除く）

年 度		H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
自動 停止	件数	2	1	2	1	0	0	1	2	1	1	0
	頻度	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0
手動 停止	件数	2	1	6	4	1	5	4	3	3	3	4
	頻度	0.2	0.1	0.6	0.4	0.1	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.5
全体	件数	4	2	8	5	1	5	5	5	4	4	4
	頻度	0.4	0.2	0.8	0.5	0.1	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5

（注）頻度＝年度内の件数／（年度内の総原子炉運転時間／暦時間）
 四捨五入のため合計は合わないことがある

表－８ 安全協定に基づく異常事象報告件数の推移

年 度	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
件 数	21	23	24	21	12	16	20	26	26	14	29
法律・通達件数	8	10	17	15	4	5	8	10	3	2	8

表-9 平成19年度安全協定に基づく異常事象報告一覧

	発電所名	発生日		事象発生時 運転状況	事象概要	影響等	国内の報告区分 評価尺度	
		発生日	終結日					
原子炉停止	大飯1号機	H19. 9. 3	H19. 9. 10	運 転 中	1次冷却材ポンプ封水注入フィルタからの漏れに伴う原子炉手動停止	手動停止	法律	0-
	敦賀1号機	H19. 9. 25	H19. 10. 7	定期検査中 (調整運転中)	原子炉再循環ポンプメカニカルシールの機能低下に伴う原子炉手動停止	手動停止	—	—
美浜1号機	H19. 12. 5	H19. 12. 16	運 転 中	湿分離器ドレンタンク水面計取出しフランジからの蒸気漏れに伴う原子炉手動停止	手動停止	—	—	
大飯2号機	H19. 12. 15	H19. 12. 23	定期検査中 (調整運転中)	湿分離加熱器空気抜き管からの蒸気漏れに伴う原子炉手動停止	手動停止	—	—	
出 働 制	大飯2号機	H20. 3. 12	H20. 3. 26	運 転 中	制御棒位置偏差大警報発信に伴う出力降下	出力抑制	法律	0-(暫定)
定 期 検 査 中 の 故 障	敦賀1号機	H19. 4. 5	H19. 6. 1	定期検査中	格納容器冷却系海水配管からの漏えいに伴う炉心スプレイポンプ電動機の機能低下	—	—	—
	美浜1号機	H19. 4. 17	H19. 8. 3	定期検査中	原子炉格納容器内の壁面からの水のにじみ	—	—	—
	美浜3号機	H19. 4. 25	H19. 7. 9	定期検査中	蒸気発生器2次側管板上面での異物確認	—	—	—
	美浜3号機	H19. 6. 8	H19. 7. 2	定期検査中	A蓄圧タンク窒素供給系統からのわずかな窒素漏れ	—	—	—
	敦賀1号機	H19. 7. 22	H19. 8. 22	定期検査中	原子炉給水ポンプミニマムフロー配管曲がり部からの漏えい	—	—	—
	美浜2号機	H19. 9. 25		定期検査中	A-蒸気発生器入口管台溶接部での傷	—	法律	0-
	高浜2号機	H19. 10. 2		定期検査中	制御棒クラスタ動作検査時の制御棒の動作不良	—	法律	0-
敦賀2号機	H19. 10. 18		定期検査中	蒸気発生器入口管台溶接部での傷	—	法律	0-	
大飯2号機	H19. 11. 7	H19. 12. 9	定期検査中	2次系主給水配管曲がり部の減肉	—	法律	0-	
高浜2号機	H19. 12. 4		定期検査中	蒸気発生器入口管台溶接部での傷	—	法律	0-	
高浜3号機	H20. 2. 4		定期検査中	蒸気発生器入口管台溶接部での傷	—	法律	0-(暫定)	
待 機 除 外	大飯1号機	H19. 8. 10	H19. 8. 11	運 転 中	B-非常用ディーゼル発電機の待機除外	—	—	—
	高浜3号機	H19. 9. 28	H19. 9. 29	運 転 中	A-非常用ディーゼル発電機の待機除外	—	—	—
高浜1号機	H19. 11. 5	H19. 11. 8	運 転 中	A-非常用ディーゼル発電機の待機除外	—	—	—	
労 働 災 害	美浜3号機	H19. 5. 28	H19. 6. 4	定期検査中	発電機部品(ケーシングボルト)運搬中の負傷	—	—	—
大飯2号機	H19. 9. 11	H19. 9. 19	運 転 中	復水処理建屋内での配管点検準備作業中の負傷	—	—	—	
そ の 他	敦賀発電所	H19. 5. 2	H19. 6. 27	1号機:定期検査中	補助ボイラーの定期事業者検査の未実施	—	—	—
				2号機:運 転 中				
	大飯3号機	H19. 10. 24	H19. 10. 31	運 転 中	プラント排気筒からの僅かな希ガスの放出	—	—	—
	敦賀1号機	H19. 11. 11	H19. 12. 20	運 転 中	使用済燃料貯蔵池冷却系プリコートポンプ出口流量計からの水漏れ	—	—	—
	美浜1号機	H19. 12. 6	H19. 12. 11	停 止 中	定期的な放射性気体廃棄物放出時の警報発信	—	—	—
大飯2号機	H19. 12. 13	H19. 12. 18	定期検査中 (原子炉起動中)	「1次冷却材平均温度異常低」警報の発信	—	—	—	
高浜1号機	H20. 1. 9		運 転 中	1次冷却材中の放射能濃度の上昇	—	—	—	
大飯3号機	H20. 2. 7	H20. 2. 7	定期検査中	中性子源領域検出器の一時的な停止	—	—	—	
大飯3号機	H20. 3. 18	H20. 3. 31	定期検査中	所内電源喪失に伴う非常用ディーゼル発電機の自動起動	—	—	—	

表-10 主要設備の増設改造工事実績

(1) 日本原子力発電株式会社

工 事 件 名	敬 賀		工 事 概 要
	1号機	2号機	
原子炉容器上部ふた取替えおよび保管庫設置	—	H18.10～ 実施中	管台部の応力腐食割れ予防保全として、材料や溶接形状を改善した新しい原子炉容器上部ふたに取り替える(H19.8～)。工事に伴い発生する放射性固体廃棄物(コンクリート等)および取り替えた原子炉容器上部ふたの保管のため、原子炉容器上部ふた保管庫を発電所構内に設置した(H18.10～H19.7)。
耐震裕度向上工事 (支持構造物補強工事)	H19.2～ 実施中	H19.8～ 実施中	1号機は第31回定期検査で、格納容器冷却系等の配管や中央制御室換気空調系のダクトのサポート等の強化工事を実施した。また、2号機は第16回定期検査で、加圧器逃がしライン等の配管サポートの強化工事を実施中である。
耐震裕度向上工事 (取水系構造物補強工事)	H20.1～ 実施中	—	取水系構造物を金属製の矢板等により補強し、耐震性を向上させる。
蒸気タービン 取替工事	—	H19.8～ 実施中	低圧タービン翼取付部での応力腐食割れ予防保全対策として、材料の変更や、全一体型ロータ構造の採用等により信頼性の向上を図った最新設計の蒸気タービン(低圧タービンおよび高圧タービン)に取り替える。
原子炉圧力容器頭部 冷却系配管改造工事	H19.4 完了	—	国内外BWRプラントにて、水の放射線分解で発生した非凝縮性ガス(水素・酸素)が配管内等で滞留し、急速燃焼して配管が破断した事象に鑑み、運転中に流れがなく非凝縮性ガスが滞留する可能性がある原子炉圧力容器頭部冷却系配管にガス抜き(ベント)管を設置した。
一次冷却系温度計ウエル 修繕工事	—	H19.8～ 実施中	流体による共振の可能性が確認された一次冷却系低温側狭域温度計ウエル(合計8箇所)について、共振の可能性のない構造のものに取り替える。
ポリ塩化ビフェニル含有 絶縁油保管庫設置工事	H20.3～ 実施中	—	平成13年7月に施行された「ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に基づき、現在発電所内倉庫で保管されているPCB含有絶縁油および今後発生するPCB含有絶縁油を保管するための保管庫を設置する。

<凡例> — : 工事計画対象外 △ : 工事計画あり * : 検討中

(2) 独立行政法人 日本原子力研究開発機構

工 事 件 名	もんじゅ	ふげん	工 事 概 要
耐震裕度向上工事 (支持構造物補強工事)	H19.12 完了	—	耐震性を向上させるため、遅発中性子破損燃料検出装置 (A、Bループ) の減速遮へい体支持構造物の強化工事を実施した。(Cループについては平成19年2月に完了している。)

<凡例> ー：工事計画対象外 △：工事計画あり *：検討中

(3) 関西電力株式会社

工 事 件 名	美浜発電所			大飯発電所				高浜発電所				工 事 概 要
	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	
原子炉容器上部ふた 取替工事	H13.8 完了	H11.12 完了	H 9.2 完了	H12.12 完了	H11.8 完了	H18.12 完了	H19.8 完了	H 8.8 完了	H 9.6 完了	H19.12~ 実施中	H19.7 完了	管台部の応力腐食割れ予防保全として、材料や溶接形状を改善した原子炉容器上部ふたに取り替える。
2次系熱交換器他 取替工事	—	—	H17.8 完了	H18.12~ 実施中	H18.8 全完了	H15.2 完了	H15.7 完了	H16.6 全完了	H17.2 全完了	H18.11 全完了	H18.2 全完了	2次系給水系統の水質の向上および復水器からの海水漏えい防止のため、給水加熱器伝熱管はステンレス製に、復水器の伝熱管はチタン製に取り替える。
耐震裕度向上工事 (支持構造物補強工事)	H19.3~ 実施中	H19.7~ 実施中	H19.6~ 実施中	△	H19.10~ 実施中	H20.3~ 実施中	△	△	H19.8~ 実施中	△	△	クレー等の機器や配管、空調ダクトの支持構造物の強化工事を行い、耐震性を向上させる。
耐震裕度向上工事 (地盤改良工事)	H19.10~ 実施中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	取水構造物周辺の地盤の強度を高め、耐震性を向上させる。
原子炉冷却系統設備 小口径配管他取替工事	H11.12~ 実施中	H11.9~ 実施中	H11.5~ 実施中	H11.3~ 実施中	H10.9~ 実施中	△	△	H12.5~ 実施中	H13.1~ 実施中	△	△	海外事例の予防対策として、化学体積制御系統等の配管他について、耐食性に優れている材料に取り替えるとともに、溶接方法の改善を図る。
再生熱交換器 取替工事	—	—	—	—	—	—	—	—	—	H19.12~ 実施中	H19.7 完了	国内事例の予防対策ならびに長期的な設備信頼性を確保するため、温度揺らぎが発生しない構造（内筒なし）の熱交換器に取り替える。
1次系小口径配管継手部 取替工事	—	H19.8~ 実施中	H18.9 完了	—	—	—	—	—	—	—	—	信頼性向上の観点から、通水時に共振する可能性のある小口径分岐配管について、応力集中を小さくした溶接形状に変更する。
昇圧変圧器 取替工事	—	—	—	—	—	—	—	H20.4~ 実施予定	—	—	—	設備の信頼性維持の観点より、予防保全対策として昇圧変圧器一式を取り替える。
蒸気タービン 取替工事	H12.3 完了	H6.5 完了	H9.2 全完了	H11.7 完了	H9.7 完了	△	△	H7.2 全完了	H8.1 全完了	△	△	低圧タービン翼取付部での応力腐食割れ予防保全対策として、全一体型ロータ構造および最新の翼形状等を採用した低圧タービンに取り替える。

<凡例> — : 工事計画対象外 △ : 工事計画あり * : 検討中

表-11 新燃料集合体輸送実績

発電所	輸送体数	発送元	到着日
敦賀1号機	60	(株)グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン	平成20年3月13日
敦賀2号機	32	三菱原子燃料(株)	平成19年5月11日
	32	三菱原子燃料(株)	平成19年5月17日
	16	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成19年5月31日
美浜2号機	16	三菱原子燃料(株)	平成19年11月20日
	8	三菱原子燃料(株)	平成19年11月28日
美浜3号機	16	三菱原子燃料(株)	平成19年11月20日
	16	三菱原子燃料(株)	平成19年11月28日
	24	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成20年3月25日
大飯1号機	20	三菱原子燃料(株)	平成19年6月13日
	36	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成19年6月19日
大飯4号機	24	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成19年11月16日
	32	三菱原子燃料(株)	平成19年12月4日
高浜1号機	20	三菱原子燃料(株)	平成19年6月8日
	16	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成19年8月21日
	16	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成19年9月5日
高浜2号機	26	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成19年5月29日
	26	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成19年6月5日
	12	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成20年3月4日
高浜3号機	24	三菱原子燃料(株)	平成19年9月21日
	24	三菱原子燃料(株)	平成19年9月28日
高浜4号機	24	三菱原子燃料(株)	平成19年11月6日
	20	三菱原子燃料(株)	平成19年11月14日
	16	三菱原子燃料(株)	平成20年3月11日
合計	556		

表-12 低レベル放射性廃棄物輸送実績

発電所	輸送体数 ドラム缶数(200リットル)	輸送先	発電所 入港日	発電所 出港日
美浜	1,200体 (充てん固化体)	日本原燃(株) 低レベル 放射性廃棄物 埋設センター	平成19年9月27日	平成19年10月2日
高浜	1,080体 (充てん固化体)		平成19年6月7日	平成19年6月12日

表-13 使用済燃料輸送実績

発電所	体数	燃料種類	目的	輸送先	輸送完了
ふげん	10	ウラン燃料	再処理	日本原子力研究開発機構	平成19年5月
	24	MOX燃料		東海研究開発センター	
	34	ウラン燃料	再処理	日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター	平成19年7月
美浜1号機	30	ウラン燃料	再処理	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年3月
美浜2号機	30	ウラン燃料	再処理	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成19年10月
大飯1号機	23	ウラン燃料	再処理	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年3月
大飯2号機	28	ウラン燃料	再処理	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成19年10月
	47	ウラン燃料	再処理	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年3月
高浜1号機	56	ウラン燃料	再処理	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成19年10月
	56	ウラン燃料	再処理	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年3月
合計	338				

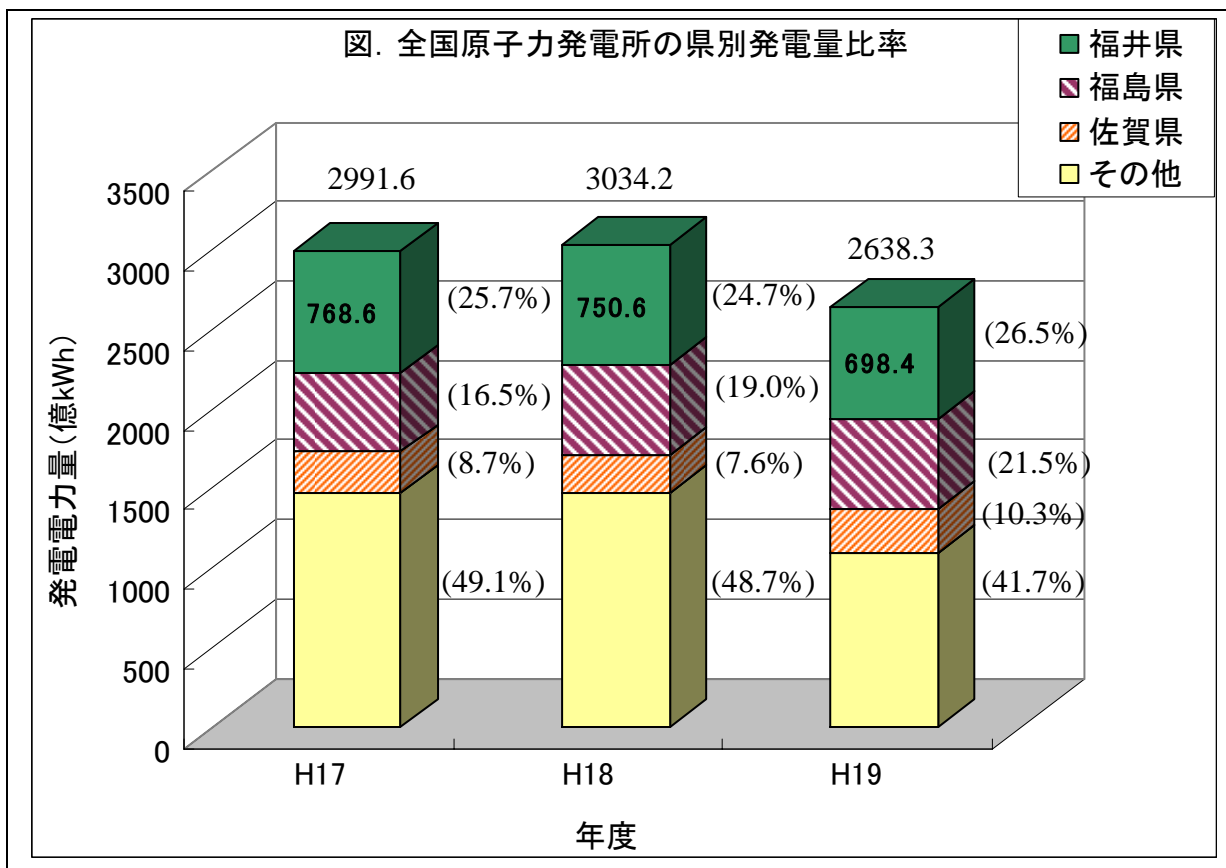
原子力発電所の稼働実績について

(平成 19 年度)

平成 20 年 4 月 9 日
原子力安全対策課

平成 19 年度の全国原子力発電所における発電電力量および設備利用率等の速報が、経済産業省原子力安全・保安院より公表されました。それによると全国の発電電力量は約 2,638 億 kWh [前年度実績；約 3,034 億 kWh]、設備利用率の平均は 60.7% [同；69.9%] となっています。

これに基づき全国の発電電力量に対する福井県内分の発電電力量の割合を算出すると、県内原子力発電所の発電量は、全国原子力発電所の発電量の約 26.5% [同；約 24.7%] を占めています。



問い合わせ先 (担当：藤内)
内線 2354・直通 0776(20)0314